



国際ロータリー第2730地区

2013~2014 RIテーマ

都城西 ロータリークラブ

会長 高橋 五男 幹事 外山 俊明
クラブテーマ 会員増強と、そして楽しむ



週報 第1809回 平成25年7月24日

都城西ロータリークラブ 創立1976年3月10日
事務局:メインホテル4F Tel 0986-25-0834

例会場:ホテル中山荘 Tel 0986-23-3666
E-Mail:rc2730@lily.ocn.ne.jp

大迫 三郎ガバナー 公式訪問

点鐘

合唱 それでこそロータリー

ゲスト紹介

国際ロータリー 第2730地区
ガバナー 大迫 三郎 様
(宮崎南RC)
宮崎県西部分区ガバナー補佐
木佐貫鐵蔵 様

ビジター紹介

◎都城 なし
◎都城北 樋口 正義 氏
◎都城中央 なし

□会長の時間 高橋 五男

皆さん今日は、本日は大迫ガバナー、木佐貫ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問、クラブフォーラムです。大迫ガバナーは今週は都城、小林えびの地区7クラブ、昼、夜訪問となっており、大変御苦労様であります。例会終了後に記念撮影を行い、1時間の予定でクラブフォーラムを行います。全員参加が原則でありますので宜しくお願いします。今年のクラブテーマを「会員増強と、そして楽しむ」を掲げました。全力を尽くして「ロータリアンの素質」を持った会員を増強する努力をしなければならぬと思っています。又、大迫ガバナーは、国際ロータリー第2730地区では総会員数は230

0人。女性170人と少なく、「女性200人以上に増やすし、会員数も4%増を目指す事が目標です。皆様は「そんなことは出来ない」と思われる数字だと思いますが、先月のクラブ協議会においてもお話しをしましたが、自然退会者を含めた退会者のことを考えると、これでも結果的には、凄く低い数字になってしまうことは、皆さま良くお判りだと思います。だから都城西クラブ会員皆さまの協力で会員増強を図っていかねばなりません。

ところで、宮日新聞この「ひと蘭」に大迫ガバナーが「職業奉仕の実践」を目標に掲げておられます。職業奉仕とロータリーの魅力。(五代奉仕との関わり)。人格の形成と豊かな人生のために。

(職業奉仕)=(職業の発展)=(社会への奉仕)=(人格の陶冶)の内容を読んで大変勉強させられました。本を読んで少しづつではありますが、ロータリーの事がわかってきました。すばらしい。ガバナーに、私流として素朴に考えました。

職業奉仕とは、ロータリー固有の用語で、職業を通じて奉仕することです。職業とは、私たちが生活するために所得を得るための手段であって、自分自身のためであり、一生懸命に働くことより多くの利益を得たいと考えるものです。一方、奉仕とは、世のため人のために、その必要とされるものを満たしていこうとする、サービスです。他人のためのものです。自分自身のための職業と他人のための奉仕とを一体として考えるのが職業奉仕ですが、自己矛盾のようでわかりにくいところがありますが、職業を他人に対する奉仕として体得する為に、

事業や専門職に携わる人が集い修練するのがロータリーである。ロータリーの心をだんだんに養成すること、育成、実践してこそ職業の成功があり、儲けの天与を頂くことになる。職業奉仕は単なる理念でなく実践活動である。会長の時間でした。

□幹事報告 外山 俊明

- 大迫ガバナー事務所…
 - ・ロータリーカードのご案内・申込書
 - ・「公式訪問を終えて」の原稿依頼
 - ・地区社会奉仕セミナーのご案内
8・24 (土) 12:45 受付 13:15~15:30
都城ロイヤルホテル 登録料 2000 円
 - ・各クラブの国際奉仕委員会へ資料提出のお願い
 - ・青少年交換オリエンテーションのご案内
8/31 (土) 受付 9:20 会議 9:30~
ホテルマリックス 登録料 4000 円
- 第12回日韓親善会議ご参加のお願い
10/19 (土) 10/20 (日) ソウル
- 高松南 RC 会長 マウスト・ソバハニ …
『高松南 RC の例会にご参加を』のご案内
- 盆地まつり実行委員会・協賛金 お礼
- 公益社団法人 都城青年会議所 創立 50 周年
記念式典及び記念祝賀会のご案内
8/18 (日) ホテル中山荘 登録料 5000 円
受付 11:50 式典 12:50~14:30
祝賀会 15:00~17:30

□クラブ報告事項

- 7/25 (木) 8月定例理事会 18:30 中山荘
- 来週 7/31 (水) 納涼例会 例会 18:30
懇親会 19:00 中山荘

■地区関連 その他

- 07/26 (金) 4RC ガバナー懇親会 受付
17:30 懇親会 18:00 メイン

出席報告

会員数	47 名
出免数	5 名
出席数	31 名
出席率	73.80%
前々回修正出席率	7/10 90.48%
前回修正出席率	7/17 80.95%
届出有	最勝寺 藤岡 吉田 脇丸 永野 福本 鳥集 中村 (七) 高辺 吉元 中村 (静)
届出無	なし

MU有会員 7/18 都城中央	甲斐 河野 藤岡 高辺 吉田 萩原
7/23 都城北	木佐貴 鳥集
MU無会員 7/10	柳 中村 (七) 盛田 福本
要MU会員 7/17	最勝寺 小坂 永野 脇丸 甲斐 鳥集 盛田 中村 (七)

□委員会報告 ありませんでした。

□本日のプログラム

ガバナー公式訪問

別紙に掲載しております。

□SAA 報告 鎌田 博文

◎ニコニコ箱◎

- 大迫 三郎ガバナー…ニコニコ箱へ。
- 高橋 五男…大迫ガバナー 公式訪問をうけて
本日はありがとうございました。
- 外山 俊明…大迫ガバナー 当クラブ訪問あり
がとうございます。
- 鎌田 博文…大迫ガバナーをお迎えして。
ようこそおいで下さいました。

◎今後のプログラム

7/31	納涼例会
8/7	IA年次大会報告・助成金授与
8/14	お盆の為 休会

	7/24	計
ニコニコBOX	6,000	56,600
ゴールドBOX	2,049	7,642
ロータリー財団	0	9,691
米山奨学会	0	75,000
教育振興基金	0	50,000

雑誌会報・インターネット・広報委員会

吉田 努・盛田 祐一・平川 靖三
藤岡 成学・中原八重子
ロータリー事務局 制作

□本日のプログラム

ガバナーアドレス

大迫 三郎 ガバナー

職業奉仕とロータリーの魅力
人格の形成と豊かな人生のために



《職業奉仕》＝《職業の発展》＝《社会への奉仕》＝《人格の陶冶》

ロータリーの第一の基本的目的は職業奉仕であり人格の陶冶である。
職業を通じ家族を守り、従業員を守り、下請や取引先との公正な取引、更に大事なお客様への奉仕、公平な利益を追究する。これに懸命に尽くすことはロータリーの原点であり他の奉仕団体と違うところである。この目的を共有する人々と多く集い、広いつながりの中で目的と使命を確認しあい、奉仕の倫理を追究し実践するのがロータリーの第一義である。
職業は人生の幸せを追究する最も崇高な行動であると同時にロータリーを通じて人間としての成長を遂げるものでもある。

《職業奉仕とは》

職業の目的はさまざまな要素がある。

- 先ずは生活を保持し、命をつなぐこと
- 自分自身のみでなく家族を守ること。
- 世の中（社会）の人の為になること。
- 自分の生きがいを遂行すること。
- 人格の陶冶をなすこと。

など推論していけば深く広いものがある。

人が生きる目的の大事な部分は家族を含む人の為、世の中の為になることである。

人の為に生きる事の喜び、楽しみ、満足感を得る事は人生の至福であろう。

人の為に生きる手段としての職業も又重要な要素である。

自身の人生の目的を実現する手段も職業の尊い価値である。

何れも職業によって奉仕する論理を追究して行くのがロータリーであり職業を一つの奉仕の機会ととらえるところにロータリーの価値観がある。

職業、事業の成功は他人に如何に奉仕できたかで決まってくる。

事業は儲けなくてはならない。しかし儲ける事の欲望のみが先走って、相手に利益と幸福を与え続けられない事業は成り立たないし継続しない。

職業（事業）の成功を果たすには、先ず最初に他人の（社会の）為になるかどうかを考え行動しなければならない。

ロータリーの職業奉仕は実直に当然の道理を追究しているのである。

他人に奉仕しようとする心の持ち方の涵養をひたすら追究しようとしているのであり常に自身を捧げる心構えを培っているのである。

しかし人間は、自我の欲望が常に心の中に蠢いている、自我の己れをいかに修養させるかがロータリーなのである。

「超私の奉仕」「最もよく奉仕するものは、最も良く報われる」はロータリーが求める心のありようであり、ロータリーの奉仕理念の原点である。

職業を他人（社会）に対する奉仕として体得する為に、事業や専門職に携わる人が集い修練するのがロータリーである。ロータリーの心を涵養し、実践してこそ職業の成功があり、儲け又は自身の満足の天与を戴くことになる。

職業奉仕は単なる理念でなく実践活動である。

私は自分の行動の規範としてミッション・パッション・ビジョンを事業又は行動の規範としている。

「使命」「熱情」「将来展望」をサイクルさせることである。

更には職業（事業）を円滑に遂行する為には、地域社会の安定と国際的安定も重要な条件であり、その為に尽くす事もロータリーの大事な行動要素である。

クラブフォーラム

『職業奉仕と私』について発表



大峯 学会員



小俵 武 会員



平川 靖三 会員



大迫ガバナー ありがとうございます